※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	社会福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次前期
使用教科書	「社会福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等	「社会福祉基礎学習ノート」　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会福祉は、英語で welfare とか well-being と書きます。前者は（無事にすごすことができる）「しあわせ」、後者は「よりよく生きる」という意味です。社会の「しあわせ」そして「よりよく生きる」ことを考えるのが社会福祉なのです。

２　学習の到達目標

現代社会における社会福祉の基礎的な知識と技能を体験的に学ぶ。また、現代社会のいろいろな福祉的課題を福祉施設等での実習などを通して実践的に学ぶ。「知識及び技能」は、社会福祉の世界と日本の歴史や制度について知り、そのことが現在の「しあわせ」や「よりよく生きる」につながっているかを考える基礎的な知識や技能を理解すること。「思考力・判断力・表現力等」は、基礎的な知識の各国や日本の現在の比較や歴史の流れの中での比較をもとにまとめ、他の生徒への説明もできること。
「学びに向かう力、人間性等」は、実習などを通して身に付けたことや気づいた事、反省点をレポートにまとめて自ら振り返ることができること。また、新たに自分なりに向上点を見つけることを目指す。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会福祉に関する基礎的な知識と技能を自分から積極的に身に付け、社会福祉の意義や役割を理解している。	社会福祉に関する思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、自ら適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	社会福祉に関心をもち、社会福祉に関する幅広い視野とバランスのとれた社会福祉の向上を図る理論と実技の実践的な態度を身に付けようとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
４月	社会福祉の理念	生活と福祉 社会福祉の理念	a：日本の憲法や法律、社会保障と制度との関連を理解する。 b：少子高齢と介護の社会化の関連を探り、過程や結果を適切に表す。 c：.生活と福祉について関心を持ち、社会や生活の変化や健康に対する考え方を探る。	定期考査の様子	調べ発表学習の様子・実習レポート・授業プリント・ワークの内容	調べ発表学習の様子
	・意義	人間の尊厳と福祉社会の創造	a：社会の変化と介護の社会化の意義を理解する。 b：憲法や法律について関心を持ち過程や結果を適切に表す。 c：憲法や法律について関心を持ち、社会保障や制度を探る。	定期考査の様子	実習レポート・授業プリント・ワークの内容	実習レポート・授業プリント・ワークの内容・授業参加の様子

※令和４年度以降入学生用

5月	社会福祉の歴史	諸外国における社会福祉	a: 諸外国における社会福祉について憲法などの資料や情報を活用し、諸外国における社会福祉のあり方を考える。 b: 諸外国における社会福祉について利用者の意思決定の重要性を考える。また、日本における社会福祉と福祉の歴史・社会の変化の関連を探り、過程や結果を適切に表す。 c: 諸外国における社会福祉について問いを持つ。また、日本における社会福祉と福祉の歴史について関心を持ち、これからの福祉に対する考え方を探る。	定期考査の様子	実習レポート・授業プリント・ワークの内容	実習レポート・授業プリント・ワークの内容・授業参加の様子
	社会福祉の課題	日本における社会福祉	a:超少子高齢社会の理解 b:超少子高齢社会の改善策 c:自分が超少子高齢社会の中でできることを考察する。	定期考査の様子	授業プリント・考察問題の内容	考察問題の内容と発言内容
6月	生活を支える社会福祉	社会福祉・社会保障制度の意義と役割	a: 各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、虐待など、高齢者福祉と介護保険制度について理解する。 b: 各制度の社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題や虐待などの問題について思考を深め、適切に表現している c: 高齢者福祉と介護保険制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、虐待などの問題について探る。	定期考査の様子	実習レポート・授業プリント・ワークの内容	実習レポート・授業プリント・ワークの内容・授業参加の様子

※令和４年度以降入学生用

	社会保障制度	子ども家庭福祉	a：制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、生活保護保険制度について理解する。 b：制度の社会的背景、理念、社会福祉の現状と課題について、適切に表現している。 c：生活保護制度について関心をもち、制度が生まれてきた社会的背景、理念、課題などの問題について探る。	定期考査の様子	実習レポート・授業プリント・ワークの内容	実習レポート・授業プリント・ワークの内容・授業参加の様子

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
７・８月	人間関係と	障がい者福祉	a：:障がい者福祉と障がい者自立 支援制度に関する様々な資料を収集し、適切に活用・表現している。 b：アイマスク体験等を通して、障がいがある人の生活を理解する。 c：障がい者福祉と障がい者自立 支援制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの概要と現状について探る。	定期考査の様子・車いすの取扱い方	授業プリント・考察問題の内容	考察問題の内容と発言内容
	コミュニケーション	高齢者福祉 生活支援のための公的扶助	a：高齢者福祉と介護保険制度に関する様々な資料を収集し、適切に活用している b:車いすや高齢者体験を通して高齢者の気持ちに寄り添う c：:高齢者福祉と介護保険制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、虐待などの問題について探る。	定期考査の様子	授業プリント・考察問題の内容	考察問題の内容と発言内容

※令和４年度以降入学生用

9月	地域福祉の進展と多	国民生活を支える社会	a: 各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題、保険制度について理解する。 b: サービスの現状と問題について思考を深め、適切に表現している。 c: :社会保険制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と問題について探る。	定期考査の様子	実習レポート・授業プリント・ワークの内容	実習レポート・授業プリント・ワークの内容・授業参加の様子
	多様な社会的支援・保障制度	コミュニケーションの基礎 援助における人間関係の形成	a: コミュニケーションと人間関係に関する資料を収集し、適切に活用している。 b: 様々な場面での援助技術を身につけ、発揮できる。 c: コミュニケーションと人間関係の作り方について関心をもち、その基礎的な方法について探り、意義について考察する。	定期考査の様子	授業プリント・考察問題の内容	考察問題の内容と発言内容
		地域福祉の進展と地域多様な社会的支援制度 社会福祉の将来と福祉	a: 地域福祉と各制度に関する様々な資料を収集し、適切に活用している。 b: 地域福祉と各制度に関する様々な資料を収集し、適切に活して日本における社会福祉の役割と方向性を考える。 c: 地域福祉と社会的支援制度について関心をもち、各制度が生まれてきた社会的背景、理念、社会福祉サービスの現状と課題について探る。	定期考査の様子	授業プリント・ワークの内容	授業プリント・ワークの内容・授業参加の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度